

秋の味覚

『あじ・さば・いわし』

(日本放送出版協会、2004)

煮る、焼く、揚げる！！

旬の魚をおいしく料理する方法が詳しく紹介されています。

『みうたんのお芋の菓子箱』

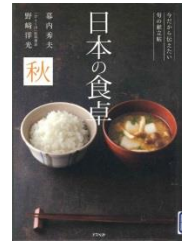
(江島雅歌、農山漁村文化協会、2009)

秋といったらお芋の季節。お芋そのものの質感、甘さや旨みを生かした、身体にやさしいお菓子を堪能してみたいはいかがでしょうか？

『日本の食卓 秋』

(幕内秀夫、野崎 洋光、アスペクト、2012)

秋に収穫される、穀類、いも類、豆類、種実類や、さんま、さば、いわしなど旬の魚レシピが満載。冬を乗り切る為の保存食レシピも参考にどうぞ。



森の図書館では、この3冊以外にも旬の食材を使ったレシピ本を10月の展示として取り揃えています。

また、秋の夜長におすすめのミステリーや、読書週間の標語と関連して「散歩」をテーマにした展示も行っています。図書館の本を使って、秋を更に深く味わってください。

読書週間



今年の読書週間の標語は「本と旅する 本を旅する」です。普段から本を読んでいるという方も、この機会に「本についての本」を手にとってみたいはいかがでしょうか。図書館の10番の棚、請求記号010～019には、様々な本に関する本があります。

『本屋さんで待ちあわせ』(三浦しをん、大和書房、2012)は、作家三浦しをんさんによる書評集です。本への著者の愛が伝わってきて、どんな本なのか気になります。

本屋さんが好きな方には、『世界の夢の本屋さん 2』(清水玲奈、エクスナレッジ、2012)がおすすめです。いつか一度は行ってみたい夢のような本屋さんの臨場感あふれる美しい写真は必見です。



この他にも、読み聞かせやブックトークについての本、図書館を使った調べ方についての本、本の読み方についての本、絵本ガイドを含む多様なブックガイドもあります。

勤労感謝の日になんで

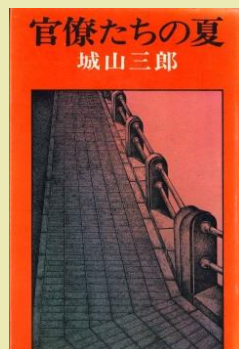
「どんなお仕事をされてるんですか？」

こんな会話で、たずねた方も聞かれた方も思わず見構えてしまったこと、ありませんか？

でも、本の世界であれば、遠慮なく、裏の裏まで知る事ができるんです。

☆書店の店員さんってどんな苦労があるんですか？と思つたら…

↓『配達あかずきん』
(大崎梢、東京創元社、2006)



☆若い頃読んで理解できなかった次官の行動、今だったら共感してしまうかも、と思つたら…

↓『官僚たちの夏』

(城山三郎、新潮社、1981)

